



2022年2月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塩町2-11
THE YMCA神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上真二
編集人/松森正樹
印刷/有わかばやし印刷

年間聖句「光あれ。」創世記 1章3節

定時制や通信制高校は、多様な学びを支える学校として社会的な認知度が高くなってきました。夜間だけでなく昼間の定時制もありますし、公立に加えて私立の通信制も多数開校されています。今回は、私が現在勤務している学校の様子をご紹介しますので、定時制通信制高校に学ぶ生徒について知っていただければ幸いです。

ひとつ目は「働きながら学ぶ」ということです。定時制高校というと、高度経済成長期の「金の卵」たちが学ぶというイメージをまず思い浮かべられるかもしれません。ですが現在、「働く」形態は大きく変化しました。中卒での新規正規採用は皆無に等しく、生徒の多くはアルバイトとしてコンビニ、飲食店、宿泊施設などで働いています。家業の農業や漁業に従事する生徒もいます。現任校では80%近くの生徒が家計を支えるために就労しています。

もうひとつは、様々な事情で学習が滞ってしまった生徒が「学びなおす」ということです。本校入学生には、不登校経験生徒が少なくありません。また体調の面から昼間の学びが難しい生徒も増えてきたように思います。四則計算やアルファベット、都道府県名など小中学校の復習から助走をつけて高校での学びに進めるように支援しています。

「働きながらの学び」と「学びなおし」は密接につながっています。授業や行事への参加を通じて学習内容が理解でき、みんなで協力する経験を重ねることで自信をつけます。「(三宮への遠足で)同級生とこんなに楽しかったのは初めてで、いい思い出になった」とは、なんと素晴らしい経験でしょうか。そこから人の役に立ちたいという気持ちが生まれ、やがて「アルバイトしたい」という動機となります。軽やかにやってのける生徒もいますが、そこに至る時間は一人ひとり違います。大人からは「アルバイトできるのに」と思っても、生徒自身の内からその気持ちが湧きおこらないと続かないので、待つしかありません。

「働きながら学ぶ」とは、想像以上に困難なことです。昼に

働きながら学ぶ高校生たち
〜ピンクシャツデーに寄せて〜

働いて、夜に登校。疲れていても、仕事で嫌なことがあっても、学校は学校です。欠席は欠席、遅刻は遅刻。定期考査にも合格しなければいけません。文化祭、体育祭などの行事もあります。「高卒の資格が欲しい」というだけでは続かないことも事実です。卒業学年の夏休みからは就職活動に取り組み、高校新卒就職というチャンスを自らの手でつかみとります。そして、それをやり遂げた生徒は自分に自信を持って堂々と卒業していきます。卒業後は、中華鍋をふってランチをつくったり、菓子店で販売をしたり、ライフラインを支えたりと社会の様々な場面で活躍しています。

コロナ禍による新しい日常が始まって2年、休業や時短営業で収入の減った生徒もいます。学校でも行事を簡素化せざるを得なくなり、上級生から下級生への行事運営の継承が難しくなっています。それは達成感を得る機会の喪失にもつながるので、新しい行事の創出に生徒、教員ともアイデアを出し合っています。

下校時、生徒は「お疲れさま」と挨拶して家路につきます。そこには生徒と教員ではなく、同じ働く者同士としての共感の空気が流れています。YMCAにつながる皆さまが普段利用されるコンビニやファストフード店で、今日もどこかの定通制高校の生徒たちが働いています。彼らの「働きながら学ぶ」というミッションをどうぞ温かくお支え下さいませう、お願い申し上げます。

うえたに まどか
神戸YMCA事業委員 上谷 円さん (兵庫県立洲本高等学校定時制 教諭)



●● Pick up ●●

YMCAピンクシャツデー 2022年2月23日(水)



ピンクシャツデーとは、ピンクのシャツを着たりピンク色のものを身に付けたりすることで「いじめ反対」の意思表示をする日です。2007年にカナダで起こった実際の出来事から誕生したポジティブキャンペーンで、現在は約180の国や地域に広がっています。

いじめを考える子どもかいぎ「一人ひとりをたいせつに」
全国にあるYMCAアフタースクールでは、ピンクシャツデーの取り組みと自分たちの考えを伝え合う「オンラインかいぎ」を開催します。



こちらからどうぞ!



YMCAキャンプ100年とリーダーの支援

総主事 井上真二

キャンプ100年という節目の2020年は、新型コロナという世界規模のパンデミックから大きな挑戦を受けた時でもありました。感染症対策を行い、この春休みも余島キャンプ、スキーキャンプを行います。

長年、リーダー支援に関わってくださった武田 建先生(余島キャンプリーダー 元関西学院大学学長、元理事長)から「リーダーの支援」というお手紙を頂きましたので、抜粋して紹介します。



「リーダーの支援(スーパービジョン)」

余島のリーダーを終えた後、私が北米留学で、社会福祉や臨床心理の専攻で経験したことの一つがスーパービジョンであった。キャンプではリーダー(以下、L)がキャンパー(以下、C)にどのように接し、Cがどんな反応を示したか、それにLがどう対処するか連続である。こうした難しい状況のLをディレクターやスーパーバイザー(以下、SV)が援助するのがスーパービジョンである。Lは毎日朝から晩までCに接し、懸命に自分の持てる暖かさ、厳しさ、やさしさ、知識などをCに与えている。それをそばで見ている支え、励まし、感謝し、喜び、悲しみを分かち合うための面談がスーパービジョンである。LはCやグループについて記録を書いてSVに読んでもらう。気づかないところを指摘し、良いところは誉めてもらい、共に喜ぶ。うまく指導で

きなかったときにはアドバイスを貰う。24時間勤務のキャンプではLたちの気持ちをくみ、言い分に耳を傾ける役の人が必要だと思う。ほとんどのCは特別な扱いをする必要はない。ただ、なかにはグループに溶け込めない、よくケンカをする、何でも一人占めにしたがるようなCもいる。そんなCにどう接し、問題行動をどう取り上げるかを話し合う必要が出てくる。近江岸キャンプ長と話し合い相談しながら、余島でこのSVを実践してみた。自分の専門分野を生かしながら、余島に少し恩返しできたと感じた幸せな期間であった。

武田 建先生による「キャンプにまつわるYMCAストーリー」が日本YMCA同盟のウェブサイトに掲載されています。ぜひご覧ください。

こちらからどうぞ。



運動のいいこと

ウエルネスセンター

皆さまは、日々の生活の中に運動の習慣はありますか？

運動といわれると、ハードルが高く、抵抗を感じる方も多いのではないのでしょうか。今回は運動への抵抗が少しでも減らせるよう、「心」についてお話しします。

運動するメリットの代表例に、気分転換、ストレス解消があります。ハーバード大学の研究では、運動を頻繁に行う人は、そうでない人に比べて、うつ病の罹患率が20～30%低いことが報告されています。運動の習慣があった人も、コロナ禍でスポーツジムに行けないなど運動から遠ざかってしまい、ストレスを抱えているのではないのでしょうか。

気分転換、ストレス解消にはウォーキングがおすすめです。1日10分、大きい歩幅で歩くだけで、脳が刺激されホルモンが分泌され、ストレスの解消につながるのです。1日たった10分だけでOKなんです。この機会に始めてみませんか？

ウォーキングに慣れたら、ぜひウエルネスセンターへお越しください。運動と『つながる』ことで、自分に『よくなる』ことが、さらにたくさん『みつける』場所がここにあります。



卒業制作模擬挙式

専門学校ホテル学科

12月10日(金)、ホテル学科2年生および専修科の学生による卒業制作「模擬挙式」が無事に執り行われました。この日を祝福するかなのような素晴らしい晴天に恵まれました。

今年は新婦2名の結婚式、すなわち女性同士の結婚式でした。「LGBTQ+(性的少数者)」をテーマに“世の中には様々な愛のカタチがあること”“日本ではまだまだ理解が広まっていないことから、まずは私たちの身近な人たちに知ってもらおう”、その思いが表現された内容でした。LGBTQ+の尊厳と運動を象徴するレインボーフラッグのバッジを身に付けていたことも、訪れた人たちへのメッセージとして届いていたことでしょう。

「和と洋の融合」をコンセプトにした衣装や演出、会場の装飾にも学生たちの思いがたくさん詰まっていました。最後の代表挨拶の中で、学生が「一人ひとりが今の自分をもっと愛してほしい。様々な人がいることを受け入れ知ってほしい」と涙ながらに話していた姿がとても印象的でした。大舞台を成し遂げた喜びと、温かい気持ちが伝わった素晴らしい模擬挙式でした。

最後になりましたが、今回の模擬挙式実施にあたりご協力頂きました日本基督教団神戸栄光教会様に心よりお礼申し上げます。



第23回 神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2021 報告

「素晴らしい秋晴れのもと」と書きたいところですが、前日より気温が下がり時折強い風が吹く中、11月23日(祝・火)にしあわせの村にて「第23回 神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2021」を開催しました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。今年度も、開催するべきか、集まるのは無理ではないか、WEBに絞ってはどうかなどと悩みましたが、しあわせの村で、密にならない方法で行うことを前提に検討

を進め、例年とは大きくプログラムを変更して行いました。

リアルとWEB、2パターンで実施しました。リアルは「1.2km」「3.5km」のいずれかのコースを開催時間内(10時～13時)にウォーキングまたはランニング。また、芝生の上で行う「ストレッチクラス」も行いました。WEBは11月1日～23日の期間にウォーキング・ランニングを行った日時と距離を、参加者の皆さまから事務局へ報告していただきました。

初めての試みでしたが、総勢166名にご参加いただきました。リアルでは多くの方が面白い・かわいい・ちょっと怖いコスチュームで参加してくださり、大会を盛り上げてくれました。たくさんのご支援、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

(報告:担当主事 間勝也)

～笑顔あふれる一日でした!～

大会概要

日時 : 2021年11月1日(月)～11月23日(祝・火)

〈WEB〉2021年11月1日(月)～23日(祝・火)

〈会場〉2021年11月23日(祝・火)しあわせの村運動広場およびジョギングコース

主催 : 公益財団法人神戸YMCA

共催 : ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部、公益財団法人日本YMCA同盟

全国スポンサー : 三菱商事株式会社

全国サポートスポンサー : NPO Unleash Potential

全国協賛企業 : マテル・インターナショナル株式会社、デサントジャパン株式会社

全国後援 : 内閣府、厚生労働省、スポーツ庁、(福)全国社会福祉協議会

収支報告

支出		収入	
郵送費送料、手数料	17,806	ウォーク&ラン参加費	156,000
ナンバーカード	4,292		
会場使用料	17,700		
感染症対策費用	1,679		
印刷費(案内チラシ、報告書)	12,970		
交通費、駐車場代	19,400		
傷害保険料	6,875		
大会運営費小計	80,722	参加費小計	156,000
全国支援金拠出	192,420	全国協賛金(三菱商事より)	147,191
22年度神戸YMCA支援金	448,979	個人協賛金(49件)	159,890
		団体法人協賛金(12件)	259,040
支援金小計	641,399	協賛金小計	566,121
合計	722,121	合計	722,121

★参加者数★

ランナー総数 166名

個人参加40名(うちWEB 2名)/グループ参加39チーム(WEB 6チーム)延べ126名/

障がいを持つ方、その伴走の方16名

来場者数 40名

奉仕者数 70名

協賛団体・個人(敬称略) ～ご支援、感謝申し上げます。

田辺 征一、柴田 昌一、丹家 元陽、杉本 隆人、大野 勉、大野 智恵、水野 雄二、青柳 美知子、武田 寿子、鯖尻 佳子、多胡 葉子、石田 由美子、今田 和子、吉田 明、若林 成幸、郡家 学、福田 宏子、舘 忠之、山本 常雄、山本 容子、山口 政紀、進藤 啓介、杉谷 和代、福家 清美、美崎 晋、羽太 英樹、篠坂 幸彦、中山 豊美、桑野 友子、福原 吉孝、島田 恒、柏原 佳子、上野 恭男、濱瀬 真知子、山本 洋子、京極 美栄子、井出 浩、井出 富光子、中道 基夫、大岩 雅典、家山 華子、小田 浩、中田 杉子、小林 康男、喜多 邦子、東 恭子、井上 真二、松田 道子、松森 正樹、サンヨー環境株式会社、愛信貿易株式会社、三宮リーダー会、余島リーダー会、神戸ワイズメンズクラブ、神戸西ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、神戸ポートワイズメンズクラブ、さんだワイズメンズクラブ、神戸学園都市ワイズメンズクラブ、芦屋ワイズメンズクラブ



笑顔でゴールするユースリーダーの皆さま



協賛企業からの賞を手にしたこどもたち



コスチュームでも楽しめます!

ハンドベル —天からのプレゼント? —天使の音楽?

2021年の秋から冬にかけて、新型コロナウイルスの感染者数が減少し始めたのを機に、「神戸YMCAベルクワイア」はいち早く活動を再開しました。活動停止を余儀なくされ、共に音楽をする時を失っていたベル仲間たちが、久しぶりに集まってベルを打ち鳴らしたときには、心の故郷に戻ったような安らなくつろぎに身を任せました。この不思議な音楽のちからを、なんと少しでも多くの方々と分かち合いたいと思い、たとえ規模が小さくてもコンサートを開催しようと決めました。

12月23日(木)18:30、和やかでちょっとワクワクするようなクリスマスソングで2年ぶりのハンドベルコンサートが幕を開けました。YMCA三宮会館のチャペルでの開催でしたから、単なるリングングだけでなく、ベルに手を当て

たままで鳴らしたり、マットに打ち付けたり、響くベルを頭上で大きく回したりする様子やその音楽的効果、時折見せるリンガーたちの愉快的パフォーマンスの様子をも間近に見ることができ、とても新鮮に感じられたようです。

私たちも、演奏するときの工夫や勇気もつての表現、心の揺れ動くときの微妙な感覚が好きです。そして、私たちが大好きなことに夢中になっていることが多くの人に伝わって共感を呼び、ひとときであっても心なみせ心豊かな時を過ごしていただけたのだとしたら、音楽に不思議な力を添えて下さる神に感謝したいと思います。コンサートを終えて、いつにも増して清々しい心持を覚えたことも含め、天からのクリスマスプレゼントなのでしょう。

また2020年は「神戸YMCAベルクワイ

ア」の40周年を祝うはずでしたが、コンサート開催はできませんでした。そこで、予定していた曲などのうち11曲を4回に分け、40周年記念演奏としてウェブサイト上で公開しました。それは、国内外のハンドベル仲間たちだけでなく、ハンドベルを知らない方々にも聴いていただけるという素晴らしい記念事業となりました。

是非とも、お聴きいただきたいと思います。

神戸YMCAベルクワイア指揮者

阿部 望さん

ウェブサイト：<https://nozandringers.com>

こちらからどうぞ。



Amazon“みんなでサンタクロース”プロジェクト

感謝とご報告

YMCAは国内250カ所を超える拠点でこども、家庭、地域に寄り添い、伴走しながら活動を展開しています。特に、働く保護者や家庭を支える保育や学童保育などのエッセンシャルな事業においては、コロナ禍にあっても、感染を正しく恐れながら事業を継続しています。

昨年末には、大手ショッピングサイトAmazonによる社会貢献活動のひとつ「みんなでサンタクロース」プロジェクトに全国のYMCAが参画しました。11月1日(月)から12月25日(土)の期間に、こどもやその親を支援する団体がウェブサイト上で「ほしいものリスト」を作ると、支援したい人がリストを見て商品を購入し、その商品が団体に寄付される仕組みです。

神戸YMCAでは、6カ所の活動拠点がそれぞれの「ほしいものリスト」を作りました。すると、予想をはるかに超える多くのギフトが全国の“サンタクロース”から届けられました。新しい本や紙芝居、ゲームなどで、多くのこどもたちが豊かな学びのときを持ち、先生や仲間とのかけがえのない時間を過ごすことができま

した。

また、こどもたちは自分たちの言葉で“サンタクロース”への「ありがとう」の気持ちを書いています。遠く離れた人たちのことを思いやる心を育むこどもたちを見て、私たちYMCAが今、大切にしている「はなれていてもつながっている」ということを実感したひとときでした。

贈り主は、「昔、神戸YMCA予備校でお世話になりました」「幼少期に神戸YMCAさんに

お世話になりました」「YMCAの活動を心から応援しています」という方、そして「こどもの頃は学校に行くのが辛く、YMCAが居場所でした。こどもたちが少しでも幸せになれるように」というメッセージを添えてくださった方もおられ、励まされると同時に、胸が熱くなりました。このプロジェクトに共感し、このような機会を与えてくださった皆さまに、心より感謝いたします。



R E P O R T

神戸学園都市YMCAこども園

クリスマス礼拝・祝会を開催

12月11日(土)、救い主「イエス様」の誕生をお祝いする「クリスマス礼拝・祝会」を、感染防止対策を施しつつ開催しました。以前は幼児全員で保護者の方々と共に行っていましたが、コロナ禍が続く中で、昨年に引き続き異年齢グループ、年齢等3回に分けての実施となりました。

礼拝では、こどもたち、保護者の方々と共に、牧師先生のお話と映写(3・4歳児)、聖劇(5歳児)により、神様からすべての人々に救い主として贈られたイエス様の誕生の様子にふれ、祝会では、こどもたちからイエス

様、おうちの方々に「うた」や「劇」を通して成長した姿を見ていただき、「感謝の心」をプレゼントとして贈りました。また、クリスマスに合わせた「YMCA国際協力募金」への取り組みを通して、世界中の困っている人々に心を寄せることの大切さも感じることができました。

新しい年、世界中の人々に平和が訪れるようにとのこどもたちの祈りが届くことを願っています。



用海・浜脇・香櫨園留守家庭児童育成センター

けん玉の取り組み

西宮市の用海・浜脇・香櫨園留守家庭児童育成センター(学童保育)の1月は、恒例のけん玉月間です。こどもたちがけん玉に取り組み、「一緒に練習しよう」「〇〇できる?」「けん玉検定どこまでですんだ?」「わたし、〇〇できるようになった」と、学年、性別、在籍センターの関係なしに、自然と会話が膨らみます。

けん玉月間中はYMCAオリジナルの検定表に基づき、週に2回、けん玉検定を行っています。こどもたちが楽しく取り組めるような検定級になっており、初めはやりたい気持ちの確認、持ち方、片付け方、続い

て技に入っていきます。ひとつの技に3回チャレンジでき、1回成功すれば合格です。

育成センターでけん玉に取り組みることにより、集中力を鍛える、チャレンジする気持ちを育てるといった、こどもたち一人ひとりの力を育むことはもちろんのこと、共通の話題があること、それぞれのがんばりを認め合うこと、お互いが教え合うことなど、けん玉を通してこども同士の関係性にスポットを当てて実施しています。



神戸市立東灘体育館

体育がもっと好きになる

毎週火曜日に、体育が好きになる教室を実施しています。小学校1~3年生が対象で、鉄棒、とび箱、マットなどの器械体操だけでなく、ボール運動、縄跳びなどの様々な動きを通してスキルを習得し、体を動かすことの楽しさを感じてもらおう教室運営を行っています。

運動が苦手なこどもたちも多く参加しており、初日は不安いっぱいだったこどもが、回数を重ねるにつれて「今日はなにをするの?」「来週はボールをもっとしたい!」など、初日の様子があうそのように、積極的に意思表示してくれるようになっていきます。

また、体育館内の教室、イベントだけでなく、地域の

児童館、保育園などからも多くの出張指導依頼があり、スタッフがそれぞれの施設におもむき、指導しています。

これからも地域と共にこどもたちの成長を考え、体育館に来るこどもたちだけでなく、地域のこどもたちを見守る施設運営を続けていきます。

東灘体育館のウェブサイトはこちらからどうぞ。



こくさいのまど

国際奨学金に感謝

私は2021年度前期に神戸YMCA国際奨学金を頂きました。私の両親は二人とも定年退職したため、送金してもらえないお金が限られています。私は両親の負担をできるだけ減らしたいので、アルバイトをしながら勉強してきました。ですが、上級クラスになり、日本語の勉強や受験の準備が忙しくなったので、もっと勉強のために時間をかける必要が出てきました。そんなときに今回の神戸YMCA国際奨学金を頂くことができ、大変助かりました。私は今アルバイトの時間を減らし、勉強に専念することができます。また、第34回全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論

大会にも申し込み、自分の日本語をさらに磨く余裕も生まれました。スピーチや試験の準備で毎日忙しいですが、とても充実しています。

私は卒業したら、日本の大学に進学するつもりです。大学では工学部で勉強したいと思っています。大学で、急激に進歩しているIT技術や機械のことも学びたいです。また、大規模な物品の生産法についても興味があります。この知識を活用して、社会に貢献できればうれしいです。私はこれからも自分の夢に向かって真っ直ぐ進んでいきたいと思っています。皆さまのご支援、誠にありがとうございました!

神戸YMCA学院専門学校日本学科
カルシナ アルゲー ルジェーさん



キャンプ連載「私たちはどこから来て、どこへ行くのか？」

#06 映画『シン・レッド・ライン』に見る内外反転の起爆剤(前編) キャンプディレクター 阪田 晃一

先日大学生と、駆り立て連鎖の中で心を失い「忙しい」生を生きることの虚しさ、その対極にある「没頭」への憧れについて議論しました。それが起点となって思い浮かんできたのが、1998年製作の『シン・レッド・ライン』でした。何十回見ても「世界」が押し寄せてくる映画です。

舞台は第二次大戦におけるガダルカナル島の決戦で、文明に駆り立てられた人間の滑稽さを曝け出します。映画の中ではあらゆる存在の視座が描かれます。ワニがゆっくりと沼に降りていくシーンから始まり、たゆたう蝶や、沈むことのないように思える夕陽が描かれ、存在の隙間に「赤く細い線」が浮かび上がってきます。

ショーン・ベン演じるウェルシュ曹長が、〈社会〉の中にいて〈世界〉を感じることができる存在だとすれば、ジム・カヴィーゼル演じるウィット二等兵は〈社会〉の外に出なければ〈世界〉を感じられない存在として描かれます。

映画の終盤、戦地の荒廃した小屋の軒先で、ウェルシュ曹長とウィット二等兵が語り合う中、冒頭で示

された「綺麗な部屋の扉の閉まった鳥籠」とは対照的に、「扉の開いた鳥籠」の中で2羽の小鳥がさえずっているシーンが映し出されると、僕たちの中で何かが崩れ「世界は確かにそうになっている」と、テレンス・マリク監督の存在論に圧倒されるのです。

あらゆる駆り立ての中(扉の閉まった鳥籠)にいるから不自由なのではなく、あらゆる駆り立ての中にもワニのような、蝶のような、夕陽のような時間にもなることができるこそが、真の意味での没頭(扉の開いている鳥籠にいる鳥)なのだ映画は教えます。

ここでキャンプを想像してみましょう。本当にいいキャンプとは一体どんなキャンプでしょうか。日常の対局にある非日常の中で自己実現することでしょうか。確かにそれも大切かもしれません。しかし真に人の心を動かすキャンプとは、それまで外だと思っていたことが自己の内にあることに気がついた瞬間に達成されます。

今回はこの「内外反転」について話を進めましょう。

「食を通したつながり支援」にご協力を

神戸市立太山寺児童館

神戸市立太山寺児童館では、2021年春より食を通したつながり支援をしています。

新型コロナウイルス感染症の影響で生活が厳しい状況になるなど、支援につながっていない、あるいは、つながりの希薄な子育て世帯等を支援するもので、食品等の提供により、地域や行政等につなげることを目的としています。

毎週土曜日16:00~18:00に実施しています。ご希望の方、支援に関するお問合せは、太山寺児童館(☎078-794-4790)までお願いいたします。食材の仕分け作業は地域のボランティアの皆さまにご協力いただいています。配布をお手伝いいただくサポートボランティアも募集していますので、皆さまのご協力をお願いいたします。



地域のボランティアの皆さまによる仕分け作業

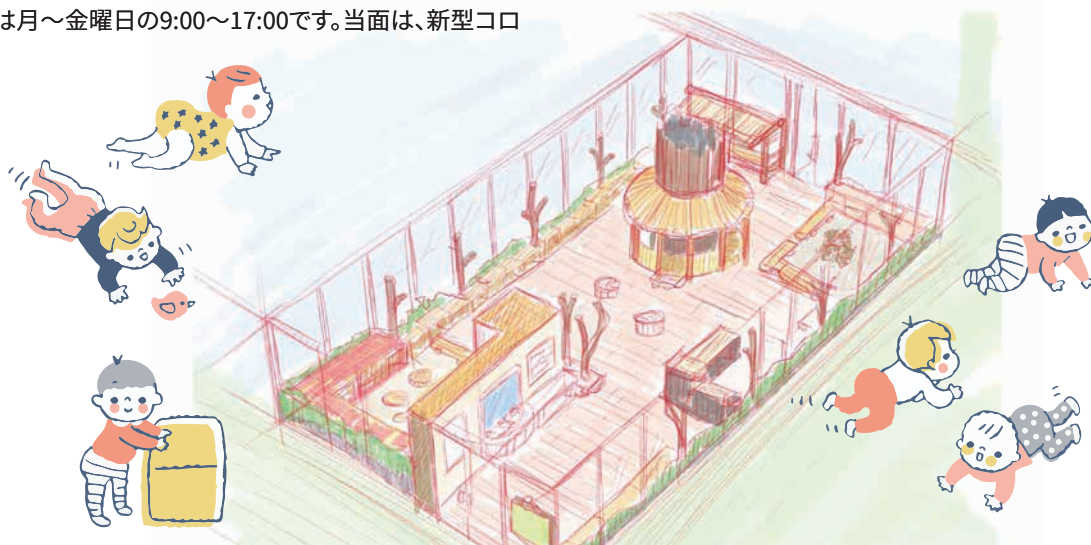
【2/14オープン!】おやこふらっとひろば西

神戸市が各区で開設を進めている0~2歳児の親子の遊び場「おやこふらっとひろば」が西区にも新設されます。複数法人の応募の中から神戸YMCA福祉会が選定され、運営を担うことになりました。

「おやこふらっとひろば西」は、西神中央に移転する神戸市西区役所の3階に、新たに設置されます。開所は月~金曜日の9:00~17:00です。当面は、新型コロナ

ウイルス感染症対策として、事前予約制・時間ごとの入れ替え制で運営していきます。

新しく生まれ変わる西神中央エリアにおいても、地域の子育て、子育てに寄与できるYMCAとして歩を進めてまいりますので、祈りに加えていただければ幸いです。



感謝・寄附

(敬称略、順不同)(前号掲載以降~10/20現在)

寄附

廣瀬 隆男、高道 彰子、井上 真二、大野 勉、前田 佐和子、佐野 のぞみ、中村 夏子、余島キャンプOBOG会、YYY余島シニアキャンプ実行委員会、神戸ポートワイズメンズクラブ、さんだワイズメンズクラブ

学生生活支援募金

大平 悦子、杉原 賢治、日本キリスト改革派神戸長田教会阪神地区西部連合婦人会、神戸ポートワイズメンズクラブ

国際協力募金

フランス料理「Vérité」、さんだワイズメンズクラブ

チャリティーラン協賛金

(3面に掲載)

この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。感謝をもってご報告します。

神戸YMCAの使命(日本YMCA基本原則)

- イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学びます。
- すべての人びとの全人的な成長を願い、いのちを守り育てます。
- 人権を守り、喜びと痛みを分かちあう社会をめざします。
- 世界の人びとと共に、平和の実現に努めます。

神戸YMCAの願い(神戸YMCA中期計画2020)

すべての「いのち」が光り輝くように、これを守り育てます。そのための活動に世代を超えた市民の参加を求め、その活動を通して新しいコミュニティを創造します。

ファミリーウエルネスセンター
ランゲージセンター
専門学校
西宮YMCA
余島野外活動センター
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)
国際・奉仕センター
ウエルネスセンター学園都市
西神戸YMCA
神戸YMCA高等学院
YMCAおひさま

☎078(241)7202
☎078(241)7204
☎078(241)7203
☎0798(35)5987
☎0879(62)2241
☎078(241)7216
☎078(241)7204
☎078(793)7401
☎078(793)7402
☎078(793)7435
☎078(793)9077

西神南YMCA
須磨YMCA
YMCA保育園
西宮YMCA保育園
西神戸YMCA保育園
神戸学園都市YMCAこども園
神戸YMCAちとせ幼稚園
YMCAちとせ保育ルーム
西神戸YMCA幼稚園
西宮つとがわYMCA保育園
あかしこども広場
学園都市YMCA保育ルーム

☎078(993)1560
☎078(734)0183
☎078(794)3901
☎0798(35)5992
☎078(792)1011
☎078(791)2955
☎078(732)3542
☎078(786)3821
☎078(997)7705
☎0798(26)1016
☎078(918)6355
☎078(794)3045

